

【会長挨拶】

まもなく2018年度が始まります。会員のみなさまにはご健勝のことと拝察いたします。昨年は、静岡大学での第89回全国大会開催をはじめ、学会誌（和文号、英文号、支部統合号、プロシーディングズ）の刊行、海外研究者招聘後援事業、さらには一般財団法人化に伴う公益目的支出計画の実施完了など、多岐にわたる学会活動にみなさまのご協力を賜りました。厚く御礼を申し上げます。

新年度に入りますと、さっそく5月19日、20日の両日、第90回全国大会が東京女子大学で開催されます。目下、大会準備委員会や開催校、事務局の諸先生により、鋭意、準備が進められております。プログラムにつきましては、本ニューズレターと合冊の「大会資料」をご参照ください。（学会ウェブサイトからもご覧いただけます。）今年も、会員のみなさまの活発な研究交流や情報交換が展開されますよう、祈念致しております。

2017年には、日本生まれのイギリス人作家カズオ・イシグロ氏のノーベル文学賞受賞をはじめ、日本とアイルランドの外交関係樹立60周年など、本学会の研究活動にもかかわる記念すべきできごとが多くありました。他方、国内の英語学習にかかわる学習指導要領の改訂や新しい入試制度をめぐる議論もなされました。これもまた会員のみなさまの教育活動などに深くかかわる問題であったかと思えます。日本英文学会は、会員のみなさまのさまざまなご要望を勘案しつつ、対象とする諸分野の研究活動と学術的交流の場を大切にしたいと考えております。会員のみなさまのさらなるご支援をお願い申し上げます。

(原田範行)

【理事会報告】

◎支出計画の終了

一般財団法人化に伴い、日本英文学会は、平成24～27年度の支出計画を計画し、計画終了年度を平成28年度に変更しておりましたが、予定通り、本年度をもって完了しました。

◎第90回全国大会

第90回全国大会は、2018年5月19日（土）、20日（日）の両日、東京女子大学（東京都杉並区）において開催されます。多数の会員のご参加をお待ちしております。また開催校委員、開催支部委員の皆様には大変なご負担をおかけいたしますが、よろしくご協力申し上げます。

◎全国大会期間中における託児施設の利用について

開催校、開催支部のご尽力により、第90回全国大会期間中には、以下のとおり託児施設が開設され、英文学会会員の希望者専用にご利用いただけます。

日時：2018年5月19日（土）（12:00～17:00）、
5月20日（日）（9:00～17:00）

場所：事前申込者には当日お知らせ致します。
委託託児業者：特定非営利活動法人
保育サービス ひまわりママ

お問い合わせ、ならびにご利用のお申し込みは、本部事務局にて受け付けております。詳しくは学会ホームページに掲載の「全国大会開催期間中の託児室開設規程」をご覧ください。締切は4月6日です。

◎終身会員制度について

2013年度より始まり、すでに70名のお申し込みをいただいております（1月現在）。「終身会員規程」は学会ホームページ「情報公開」欄より閲覧できますのでご覧ください。お問い合わせ、ならびに、お申し込みは本部事務局

局にて受け付けております。

◎事務局開室時間

2013年1月より本部事務局事務室の開室時間は以下のとおりになっております。

月曜日～木曜日、11時～16時

◎海外研究者招聘後援事業

英文学会では、2011年6月1日より、日本における英文学研究の国際化促進のために、海外研究者招聘後援事業を実施しております。該当する企画をお持ちの団体による応募を歓迎いたします。応募する団体は、申請書類を電子メール添付にて本部事務局あてお送りください。なお同事業の応募規程ならびに採択された事業の概要ならびに企画申請書は、学会ホームページ「情報公開」の「海外研究者招聘後援事業規程」欄で閲覧できます。

2017年度は申請をいただいた日本コンラッド協会に対し本事業を実施しました。

◎会員著書案内

英文学会では、本部事務局あてに会員から著書を献本いただいた場合、学会ホームページに著書紹介を出版から2年のあいだ掲載することができるようになっております。著書は会員独自の研究成果に限り、訳書等は対象外とさせていただきます。なお、著書案内に掲載された著書については、『英文学研究』編集委員会において書評対象の候補として検討させていただきます。ご希望の方は、次の情報を本部事務局までメールでお寄せください。

1. 著書のタイトル、出版社、出版年
2. 著書の内容の梗概 1,200 字程度
3. 目次

会員の皆様、著書を出された方は、どうぞふるってこの著書案内コーナーをご利用くださるようお願いいたします。2018年1月現在、会員による著書24冊が学会ホームページ「会員著書案内」欄で紹介されております。ぜひご覧ください。

【2018年度シェイクスピア祭のお知らせ】

2018年度シェイクスピア祭を、日本英文学会・日本シェイクスピア協会共催にて、下記のとおり開催します。一般公開（事前予約不要）、入場無料です。ふるってご参加ください。

日時：4月21日（土）13:00～16:30

場所：早稲田大学戸山キャンパス 36号館
382教室

プログラム：

13:00～ ご挨拶

13:10～ トーク「シェイクスピアの史劇、人間史を俯瞰する」

鶴山仁氏（文学座）

聞き手：冬木ひろみ氏（早稲田大学）

15:00～ 講演「意味を通じさせること

——本文編纂者のシェイクスピア」

金子雄司氏（中央大学名誉教授）

【大会準備委員会からのお知らせ】

◎研究発表応募について

第90回大会の研究発表に応募された方々は、英文学25名、アメリカ文学15名、英語学4名、英語教育4名の総勢48名でした。前年度実績である35名（英文学18名、アメリカ文学12名、英語学2名、英語教育学3名）からは、大幅に増加しました。次回大会もより多くの会員の方々からご応募いただけますことを期待しております。

なお、過去の大会において、大会当日に発表タイトルを変更して発表される方や、発表要旨の校正段階で大幅な修正を試みられる方がいらっしゃいました。大会準備委員会では、発表タイトルおよび発表要旨を含め、応募原稿に基づいて審査・銜衡を行っております。大会準備委員会より依頼・要請した場合を除き、応募後のタイトルの変更はご遠慮いただいております。発表応募の際には、この点をどうぞご理解いただきますよう、お願い申し上げます。

◎ハンドアウトのホームページ掲載

学会ホームページ (<http://www.elsj.org>) に、

シンポジウムや研究発表の発表者からお送りいただいたハンドアウトを掲載いたします。掲載を希望する発表者は、ハンドアウトのファイルを大会準備担当書記（etaikai@elsj.org）までお送りください。充実した大会にするために、大会発表者の皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

◎紀要等展示室

第90回大会においても「紀要等展示室」を一般会員控室（7号館2階7206）に併設いたします。目的は、会員の皆さまが紀要等を交換する場を設け、会員間の交流の機会を確保することにあります。展示可能なものは、ご自分の論文の掲載された紀要、学会機関誌、雑誌等、またはその抜き刷り、および書籍等です。会員の皆さまの積極的なご参加を歓迎いたします。

展示ご希望の方は、当日、展示物をご準備のうえ、展示室に用意された机に、ご自分で展示ください。展示物の搬入、展示、回収は、すべてご自分の責任において願いたします。展示物の紛失等に関して、大会準備委員会、学会事務局および開催校は、いっさいの責任を負えません。また、開催校への展示物の送付は、保管等の責任を負いかねますのでご遠慮ください。

◎特別研究発表候補の募集

大会準備委員会では特別研究発表の候補者に関するご提案を、以下の要領で公募しております。ご提案がある場合は、大会前年の8月31日までに大会準備担当書記（etaikai@elsj.org）まで、以下の所定の書類をお送りください。

〈特別研究発表の（募集）要領〉

- (1) 発表時間は1時間
 - (2) 資格は、海外の大学等で専任の職を持っていること
 - (3) 謝礼は2万円（税込み）。その他、国内に限った交通費（要領収書）
 - (4) 司会は原則として紹介者が行う
- 〈応募の必要書類〉
- (1) 候補者の略歴、主要業績リスト

(2) 発表題目および発表要旨

採否の決定は、大会準備委員会で9月末日までに行い、決定次第ご提案者にご連絡差しあげます。

◎第91回大会（2019）ワークショップの応募開始

2019年に開催する第91回大会ワークショップの応募を開始しております。ワークショップはシンポジウムに準ずるもので、開催時間は当面、大会2日目午後の特別講演／シンポジウムの時間帯（2時間半程度）を予定しています。企画数の上限は当面3本程度とし、企画案は分野バランス等を考慮して大会準備委員会で選考いたします。

第91回大会分の応募締切は、2018年4月末日です。応募をご希望の方は、学会ホームページ（<http://www.elsj.org>）に掲載されている応募要領をよくお読みのうえ、同ホームページよりダウンロード可能な応募フォームその他の書類をそろえて、大会準備担当書記（etaikai@elsj.org）までお送りください。

ワークショップはまだ新しい試みですので、より良いかたちを柔軟に模索しながら継続していきたいと考えています。会員の皆さまのご協力をお願いいたします。

◎宿泊予約について

吉祥寺駅近辺のホテルは数が限られています。早めの宿泊予約をお勧めいたします。

◎大会当日の昼食について

東京女子大学の学食に特別営業をしていただきます。営業時間は両日ともに11時から14時です。近くには食堂やコンビニエンスストアも少ないため、積極的にご利用いただければ幸いです。

【編集委員会からのお知らせ】

◎投稿状況

『英文学研究』は、和文号（12月刊行）、英文号（3月刊行）の年各1冊という刊行形態となっており、和文号、英文号それぞれに投稿の締切が設定されております。昨年9月の英

文号の締切までには、24本の英文論文が寄せられ、うち2本が採用されました。本年4月1日投稿締切の和文号にも、多数の投稿があることを願っています。

◎優秀論文賞について

この賞は『英文学研究』（和文号、英文号）に掲載された論文の中から、特に優れた論文に授与されるものです。昨年9月締切の英文号では、残念ながら「該当論文なし」となりました。

◎第41回新人賞論文募集

4月30日締切で、第41回新人賞論文を募集しています。第34回より佳作にも賞金5万円が授与されるようになりました。斬新なアイデアをお持ちの若手研究者の方々にはふっつてご応募いただければ幸いです。若々しく野心的な論考を期待しております。応募される方は、上記学会ホームページ、あるいは『英文学研究』第94巻（和文号）で応募要領をご確認ください。

◎委員の交代

3月末日をもって大河内昌、高桑晴子、田中裕介、吉中孝志、富山英俊、本合陽、田中伸一、堀田隆一、吉田江依子の各氏が任期満了によりご退任となります。長い間ありがとうございました。

任期満了でご退任される委員の後任には、佐藤光（東京大学）、田中孝信（大阪市立大学）、松村伸一（青山学院大学短期大学）、阿部曜子（津田塾大学）、三宅昭良（首都大学東京）、諏訪部浩一（東京大学）、本間猛（首都大学東京）、澤田真由美（愛知学院大学）、中村太一（福井大学）の9氏が選ばれました。任期は4月1日からの3年です。どうぞよろしく願いいたします。

【本部事務局からのお願い・ご報告】

◎会費納入と刊行物発送について

会費（一般会員8,000円、学生会員5,000円、協賛会員10,000円）を滞納しても、ただちに会員資格を失うことにはなりません。退会届

が出されない限り、会費の納入が滞っても、2年間は引き続き刊行物をお送りいたします。資格を失ったのちも、未納分の会費については支払い義務があり、その分をお支払いいただかない限り再入会できませんので、ご注意ください。

会費の納入状況が不確かな場合には、メール（ejimu@elsj.org）・電話・ファックスなどで、事務局までお問い合わせください。重複して会費を支払われますと、払い戻しなどに余分な手数料がかかりますのでご注意ください。

会費の納入忘れを避けるためにも、「郵便局自動払込みによる会費引き落とし」のご利用を強くお勧めしております。郵便局（ゆうちょ銀行）に口座をお持ちでしたら、事務局からお送りする書類に記入して、ご返送いただくだけで簡単に利用できます。領収書も、ご請求があれば学会より発行いたします。ご利用をご希望の方は、メール（ejimu@elsj.org）・電話・ファックスなどで、事務局までご連絡ください。

◎全国大会の受付業務について

全国大会当日の受付業務は、以下の時間と内容となります。なお、2008年度より、会費の納入の取り扱いを廃止しております。さまざまなトラブルを未然に防ぎ、会員の皆さまに大会プログラムに専念していただくための方策ですので、ご理解のほどをお願い申し上げます。

※受付時間：5月19日（土）12:00～16:00
5月20日（日）9:30～11:30

1) 当日会員の受付

非会員の方々でも、当日会員費1,000円をお支払いいただければ、『大会資料』を受け取り、すべてのプログラムに参加できます（ただし懇親会は、余裕がある場合に限り参加可能です）。後日、一般会員もしくは学生会員として正規にご入会いただく場合には、当日会費の領収書があれば、当該年度会費から1,000円を差し引かせていただきます。

2) 郵便局自動払込み領収書の発行

郵便局自動払込みをご利用の方には、ご希望により受付にて領収書をお渡しいたします。ご希望は自動払い込み申込時に伺っておりますが、お忘れの方はメール (ejimu@elsj.org)・電話・ファックスなどで、事務局までご連絡ください。すでにご希望を頂いている会員の方は、郵送費の経費削減のためにも、ぜひ受付にお立ち寄りください。

3) 変更届の受付

ご住所やご所属等に変更がある場合は、変更届をご提出ください。

4) 出張証明書の発行

ご所属の大学で公費出張をなさる場合の出張証明書を発行いたします。ご入用の方は受付にてお申し付けください。

学会ホームページ上のファックスや郵送による入会申し込みのページをご参照いただき、そこに用意されている「申込書」の書式をご利用ください。

お申し込み内容に応じて、事務局より、郵便振替用紙もしくは郵便局自動払込利用申込書のいずれかが、ご指定いただいた住所に送付されます。郵便振替用紙をお送りした場合は、会費をお振り込みいただいた時点で入会とし、また、郵便局自動払込利用申込書をお送りした場合には、これを事務局あてにご返送いただいた到着日をもって入会として扱います。研究発表への応募や論文の投稿などの資格も、これに準じて発生することになります。

◎全国大会懇親会の予約方法について

第86回全国大会より、懇親会の予約を学会ホームページからの受付に統一しております。詳しくは、本大会資料掲載の「第90回大会懇親会のご案内」をご覧ください。

◎入会・退会の手続きについて

入会・退会の手続きにつきましては、学会ホームページにて詳しくお知らせしておりますが、あらためて下記にご案内いたします。

《新規入会の手続き》

新規にご入会いただく場合には、本部事務局へご連絡ください。(1) ウェブ入会フォームの利用、(2) 電子メールによるお申し込み、(3) ファックスや郵送によるお申し込みの3つの方法があります。

- 1) ウェブ入会フォーム：学会ホームページ上のウェブ入会フォームのページから必要事項を記入のうえ、お申し込み内容を送信してください。
- 2) 電子メールによるお申し込み：学会ホームページ上の電子メールによる入会申し込みのページをご参照いただき、そこに用意されている「申込書」の書式をご利用ください。
- 3) ファックスや郵送によるお申し込み：

《退会の手続き》

会員は、退会するときは、退会届を提出しなければなりません。また、2年間にわたって会費を滞納した場合は、会員の資格を失うこととなります。(逆にいえば、会費を納めなくても2年間は会員扱いになり、当学会の学術誌や刊行物の送付を継続いたします。) 資格を失ったのちも、未納分の会費については支払い義務があり、その分をお支払いいただかない限り再入会できませんので、ご注意ください。

退会のご意思をお持ちの場合には、速やかに、ウェブ連絡フォームやメール等で事務局までご連絡いただき、どの年度をもって退会とするかをご指示ください。なお、本部のみ、支部のみを退会することはできません。詳細は学会ホームページ「退会の届け出」欄をご覧ください。

◎学生会員の皆さまへ

学生会員の皆さまには事務局から以下の2点をお願いしております。

- 1) 毎年度4月末日までに学生証の写しを送付すること
- 2) 郵便局自動払込みの申し込みをすること

すでに学生会員となっており、引き続き2018年度も学生会員の身分を継続希望の方は、4月末日までに、2018年度有効の学生証の写

しを、メール添付 PDF ファイル、あるいはファックスにて、本部事務局あてお送りください。確認のうえ、2018年5月中旬に学生会員としての年会費を引き落とします（郵便貯金残高をご確認ください）。なお、上記2つの条件を満たさない場合、一般会員に身分変更するなどの措置をとらせていただくことになりますので、ご注意ください。

また、身分に何らかの変更が生じた場合や、留学等で長期間海外に出られる場合などには、事務局までその旨ご一報ください。

◎各種変更に関するお願い

氏名、住所、電話番号、メールアドレス、所属、身分、所属支部などに変更が生じた場合には、お手数ですが、事務局まで速やかにご連絡ください。とりわけ、氏名と住所の変更は、会費の引き落としや刊行物の配送に支障をきたしますので、お早めにお知らせください。

◎夏休み中の事務連絡について

本部事務局は、7月27日より8月31日まで基本的に夏休みとさせていただきます。この間の学会へのご連絡は、郵便、ファックス、電子メールにて受け付けておりますが、ご回答までに日数がかかることもあります。予めご了承ください。

◎次回のニューズレターについて

次回のニューズレターは、2018年9月中旬刊行予定の『支部大会資料統合版』の巻末に掲載される予定です。なお、それまでの間に公開すべき情報は、随時学会ホームページにて告知いたします。

◎次期事務局構成

2018年度本部事務局は下記のメンバーで構成いたします。ただし、全国大会終了後の5月末までは現事務局が「主」、新事務局が「副」として業務にあたります。6月1日以降は、全面的に新事務局に移行します。

事務局長 佐藤和哉(日本女子大学)異動
事務局長補佐 岩田美喜(立教大学)

会計補佐 深谷素子(鶴見大学)留任
編集担当書記 張替涼子(東京理科大学)
大会準備担当書記 西原貴之(広島大学)
ウェブ担当 倉林秀男(杏林大学)留任

事務局は原田会長のもと、英文学会が会員の皆さまの優れた研究・教育の成果を発表することのできる場であり続けるため努めてまいります。今後とも、会員の皆さまのご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。なお、現事務局にこれまで賜りました多大なるご支援に、この場をお借りして篤く御礼申し上げます。

日本英文学会事務局

山口和彦・佐藤和哉・深谷素子・
若林麻希子・本多まりえ・倉林秀男